



WEB公開用

NAFSA2023 ワシントンD.C.大会
《STUDY IN JAPAN 日本合同ブース》
出展団体様アンケート集計結果

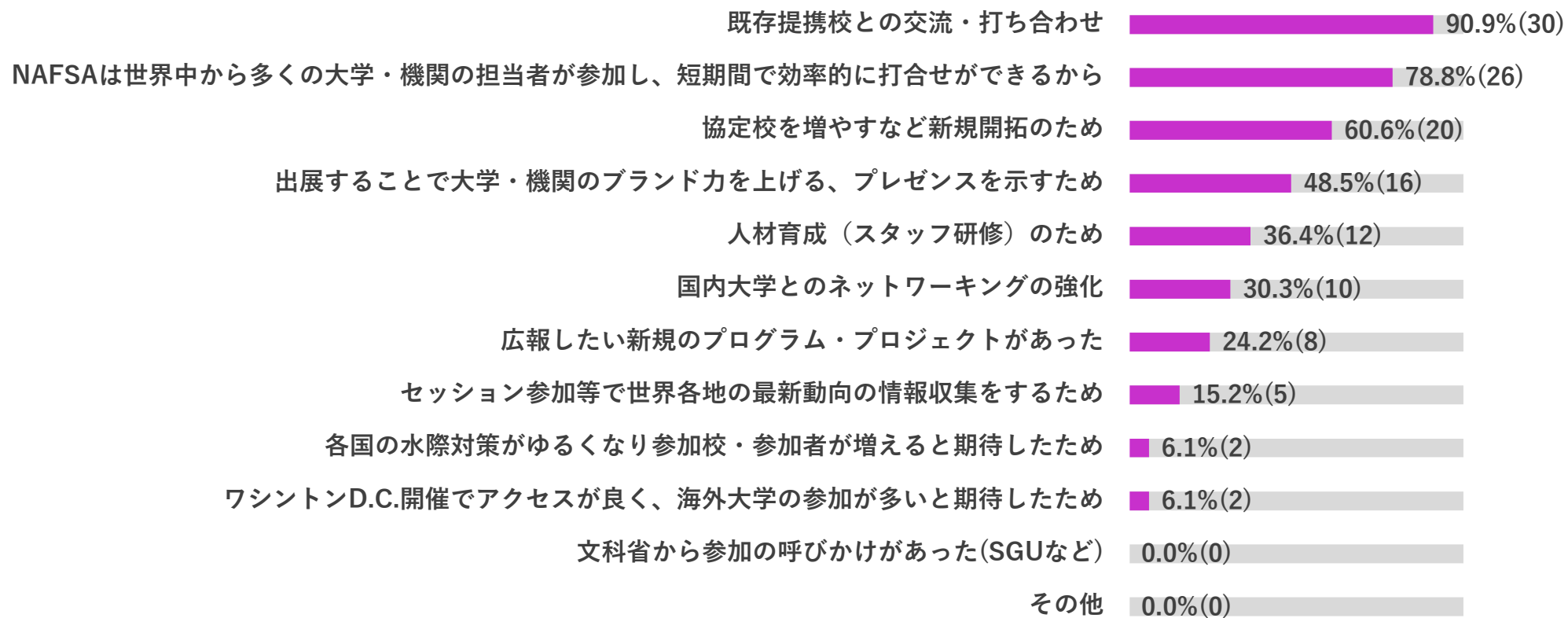
※回答：出展35団体中 33団体より(回答率：約94.3%)

◎大会終了後(2023年7月)にWEBアンケートを実施。

◎実際に参加された教職員の方に回答を依頼。

1. NAFSA2023ワシントンD.C.大会に 出展した理由を教えてください。

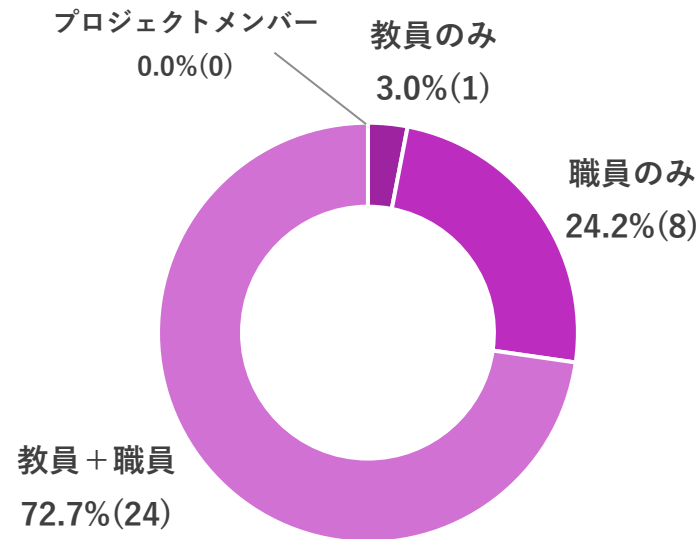
出展した理由（複数選択可）



(回答数=33)

2. ブース対応の出展参加者について教えてください。

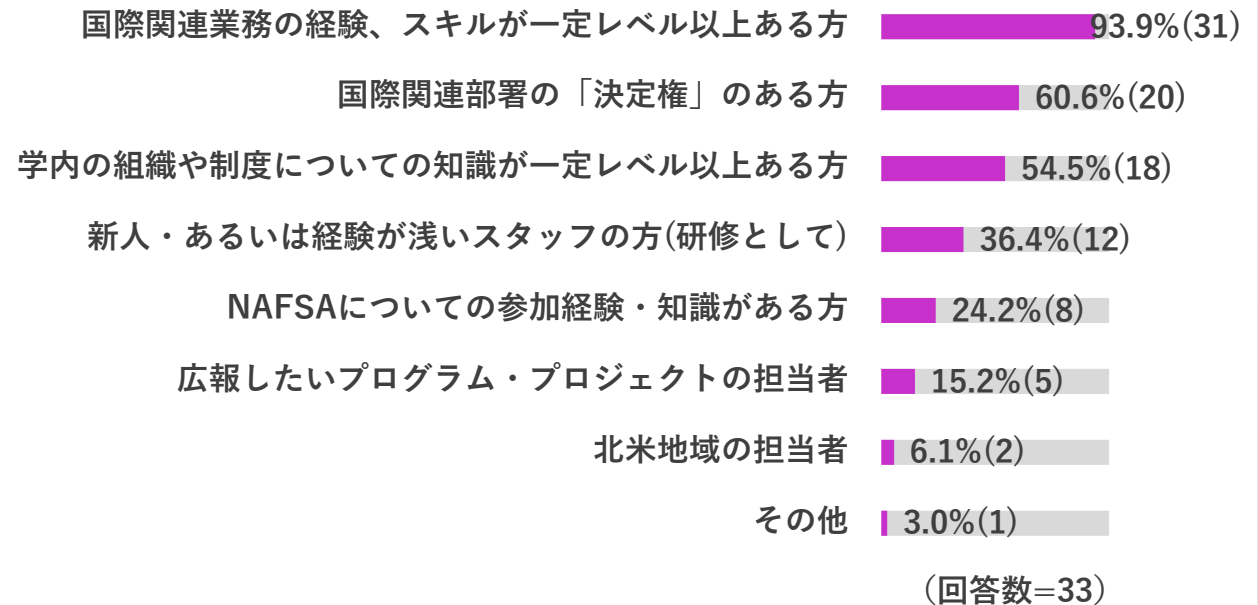
出展者のカテゴリ (複数選択可)



(回答数=33)

※複数選択回答なしのため円グラフで表示

選出の基準 (複数選択可)

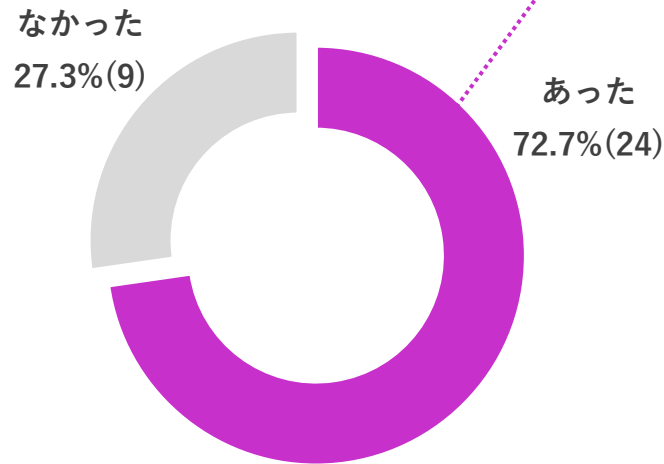


[その他回答 (1)]

- 留学生受入・派遣、協定の担当者

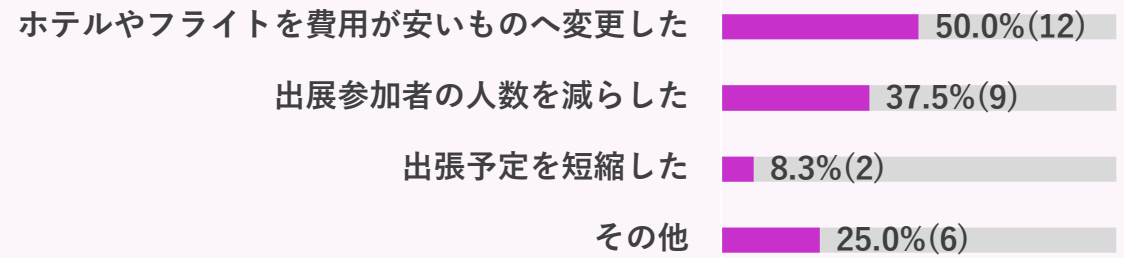
3. 今回のNAFSA2023の出展参加について 昨今の円安やインフレの影響はありましたか？

円安・インフレの影響 (1つだけ選択)



(回答数=33)

影響の内容 (複数選択可)



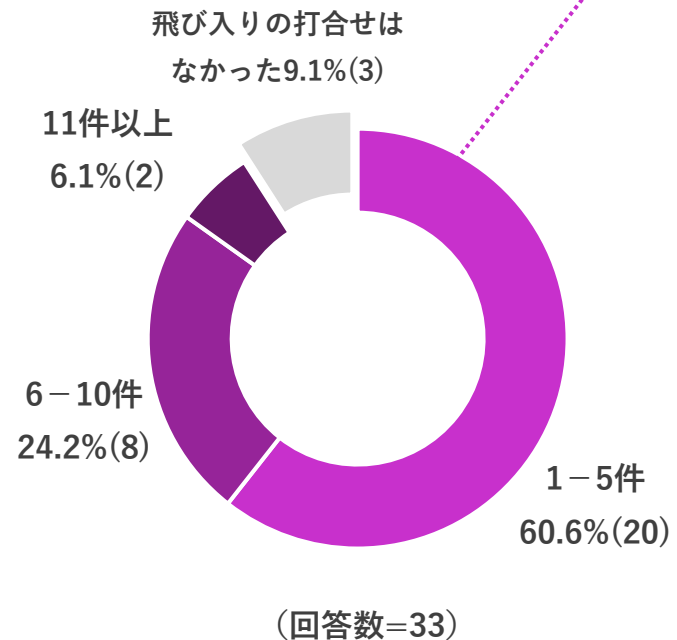
(回答数=24)

[その他回答 (6)]

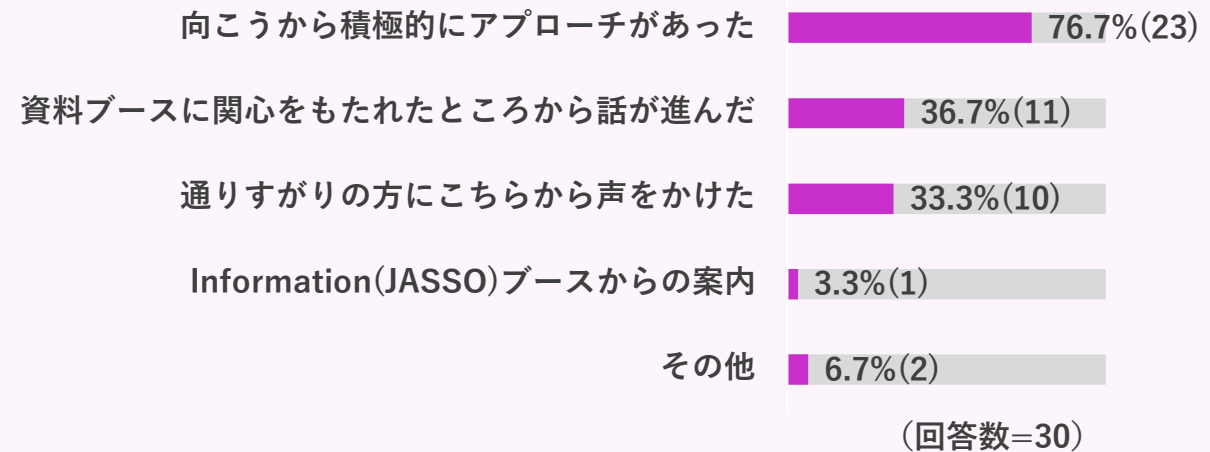
- 旅程や参加人数に変更はなかったが、学内手続きで円安の影響により支払い額の調整が必要な旨理由書などを別途作成する必要があった。
- 学内の旅費規程の上限を超過する分について、学内で特別配慮を講じる調整を諮った。
- 予算を超過した
- 他の出張機会を減らした
- 旅費等の予算額を増額せざるを得なかった。
- 出費の肥大化

4. 貴学ブースでは「飛び入りの打合せ（事前のアポイント無しでのブース訪問）」 はありましたか？

打合せの件数（1つだけ選択）



打合せのきっかけ（複数選択可）

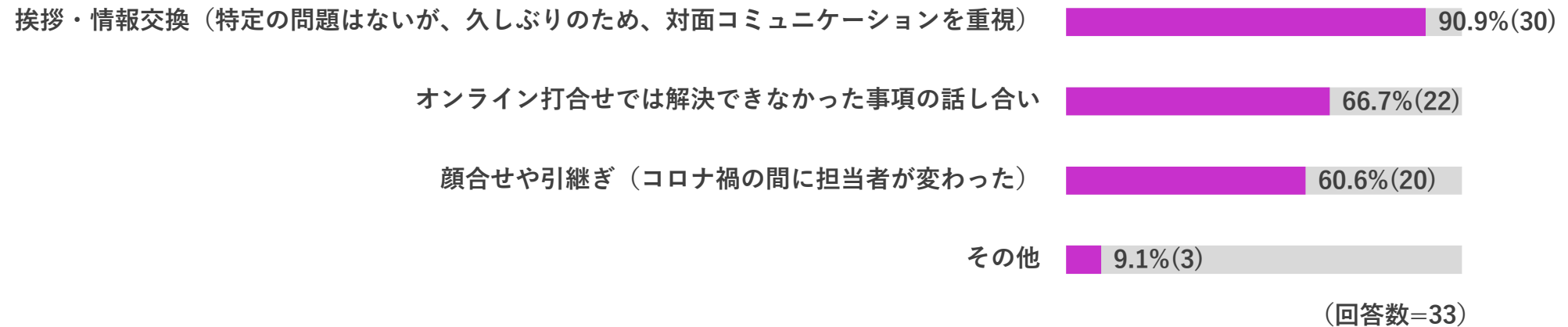


[その他回答 (2)]

- こちらの時間が空いているときに、既存の協定校の方が通りすがりに訪問された。
- 協定校の方がアポなしでブースに来られた。

5. 既存の協定校とは、どのような打合せをされましたか？

既存協定校との打合せ内容（複数選択可）

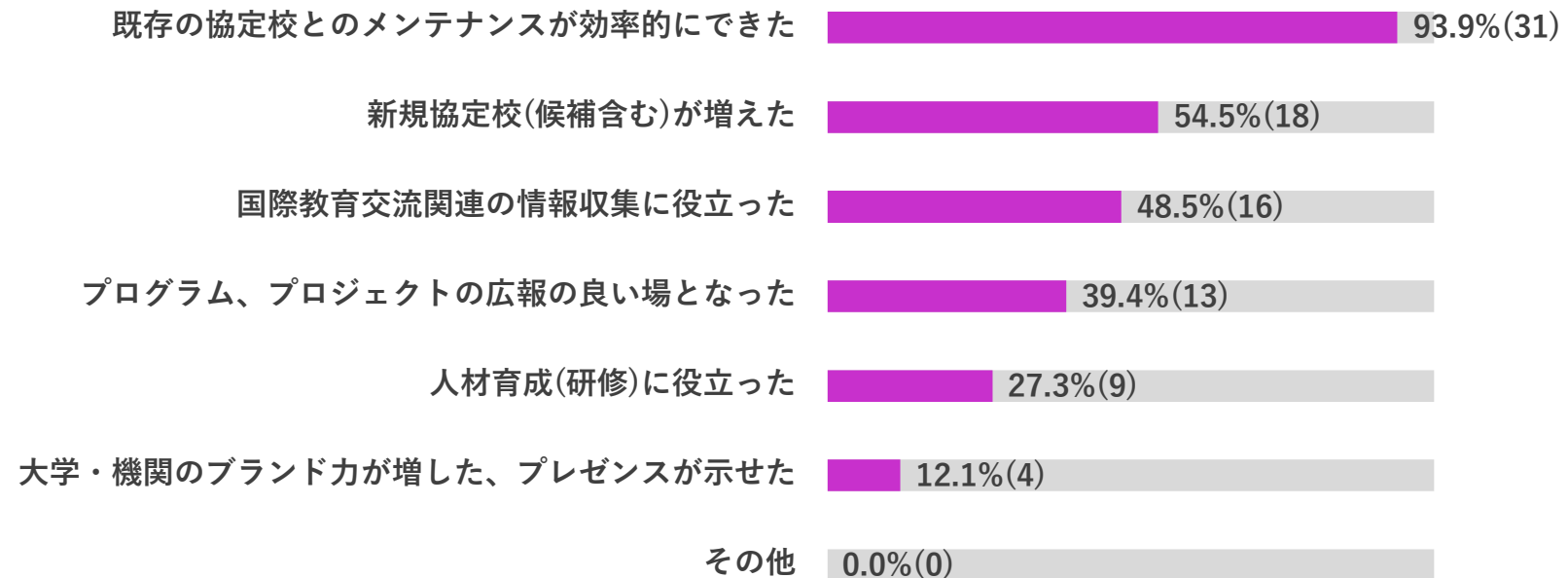


[その他回答 (3)]

- こちらが確認したい事項を照会
- 協定留学の派遣条件について（語学要件、GPA要件の引き下げなど）
- 連携強化に向けた取り組みに関する協議

6. 出展した成果について教えてください。 出展成果はどの点に現われていますか？

出展成果 (3つまで選択可)



(回答数=33)

6. 前頁の**出展成果**について、具体的に教えていただけますか？

具体的な成果 [1] (自由記述/抜粋)

[新規の協定校に関連する回答]

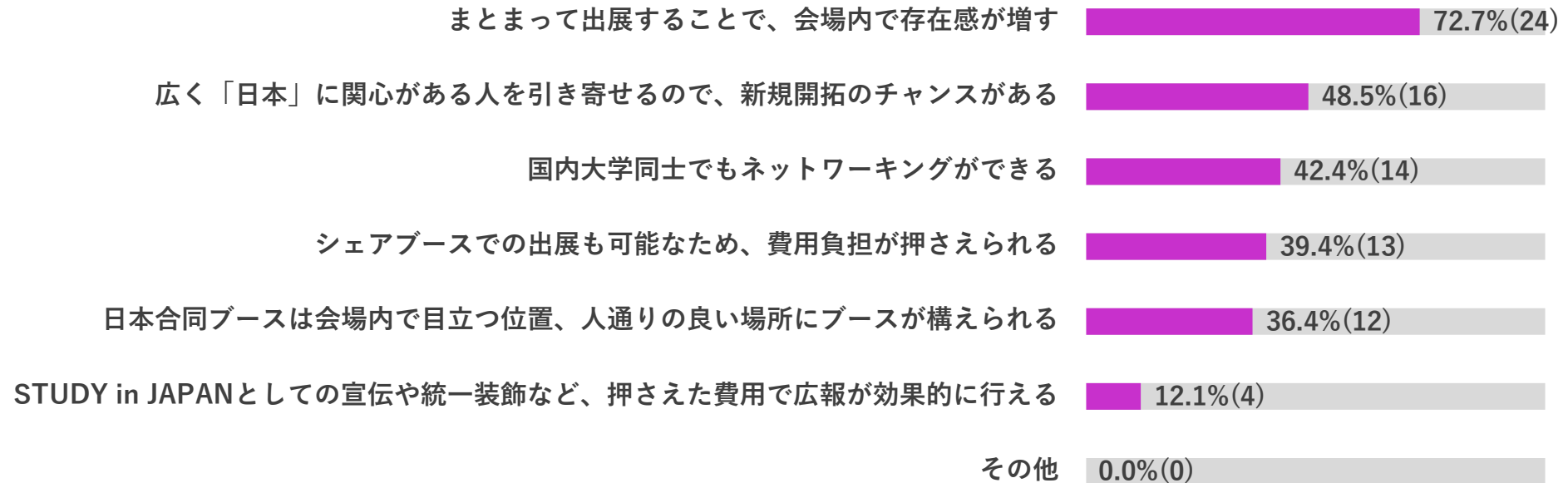
- 北米を中心に約10大学が協定締結候補になった。
- 協定校が5校ほど増える予定です。今まで提携のなかったドイツとの交流の可能性を協議できた。
- 現時点でNAFSA会場で協議した新規協定校5校程度と協議を継続しており、うまくいけば協定校が増える予定である。
- 協定校が比較的少ないアフリカ諸国の大学関係者と新規連携についての話し合いができた。
- 米国西海岸や他のエリアとの結びつきができ協定校候補となった。
- 学生から人気の高い英語圏やヨーロッパ圏の開拓を目的としていたが、新規派遣先を獲得できた。
- 今まで協定校がなかったニュージーランドとの新規協定の協議ができた。

[既存の協定校に関連する回答]

- コロナウイルスの影響で、交流プログラムが中断された協定校と直接面談して、どのように再開すれば良いか等について話し合うことができました。
- 派遣人数の不均衡が生じていた協定校と具体的な解決策について話し合うことができた
- オンラインやメールで解決できなかった事項等の解決や、詳細の情報交換ができた。
- 学生交流活性化に向けた学内向け説明会（オンライン）への参加承諾。
- 既存協定校との最新情報および課題の共有ができた。
- メールで連絡が取りづらい相手先と実際に対面で会うことにより懸案事項を解決できた。

7. 単独ブースでなく「日本合同ブース」で出展するメリットをどこに強く感じますか？

合同ブースのメリット (3つまで選択可)



(回答数=33)

10.NAFSA2023ワシントンD.C.大会に参加された 感想や出展に関するご意見などをお聞かせください。

感想・意見 [1] (自由記述/抜粋)

- NAFSAへ初参加。既存の交流校をはじめ、多くの新規の交流校とも直接今後の交流の可能性について協議でき、大変充実した機会となりました。国内の大学と対面での交流の機会にも初めて参加し、他大学での留学関連の取り組みについてもお伺いすることができ非常に参考になりました。
- 今回、NAFSA初参加だったため、事前の手続きなどで分からないことが多く、その度にJAFSA事務局の方に丁寧にサポートいただき、ありがとうございました。対面ではスムーズに話が進むことも多く、手ごたえを感じました。また、アポなしの打ち合わせが多く発生しましたが、ブースに訪ねてきてくれる方の多くが、日本での留学経験や勤務経験があり、日本の大学との交流に思い入れのある方でした。これらの方たちとの打合せは、日本合同ブースに出展したからこそ実現したのではないかと感じています。
- コロナ禍の影響で参加者が全体的に減少するかと予測していたが、多くの国内外関係者とネットワーキングを構築することができたのはよかった。ただ、年々、海外大学のブース出展が縮小している影響もあり、事前にアポをとらないと全く意味がないと感じた。
- パンデミック後、規模が以前に戻りつつある状況で参加できてよかった。
- 初めてのフルブース参加で（終日打ち合わせ場所が確保されている為）身体的な負担が少なく済みました。

10.NAFSA2023ワシントンD.C.大会に参加された 感想や出展に関するご意見などをお聞かせください。

感想・意見 [2] (自由記述/抜粋)

- 協定校との情報交換を効率的に出来たことは有益だった。
連続して参加することにより、より具体的かつ効果的な交渉が出来るようになってきているように感じる。
- コロナ禍での中止・縮小を経て4年振りにほぼ通常開催されたこともあり、各大学が新規の協定締結に向け積極的に動いているように感じられました。地域を問わず、日本への留学に対する関心は高く、既存協定校における本学への派遣学生の確保、新規協定候補校との交渉が大変スムーズでした。
また、今回アポイントメントのない大学からブースに置いてある資料を見て声をかけられる機会が多く、日本ブースの華やかさ、各大学通路側の資料の配置が大変効果的だったと感じています。複数地域の担当者と一度に交渉ができ、大変効率的に新規交渉締結・既存協定メンテナンスができたため、参加した意義が大きかったと感じております。
- 今回人員や日程は予定から減らしてはしましたが、円安やインフレの影響で予算がかなり厳しいものとなりました。
既存協定校とのコミュニケーションをメインに新規協定の開拓にもつながったため、参加目的は果たせたと思っています。